

議 題	ご意見等	回答等
<p>1 クリーンセンターの整備について</p>	<p>(1) 地域循環共生圏や3R プラスといった国の施策も反映した計画づくりをお願いしたい。</p> <p>(2) ごみの低カロリー化、人口減少、分別資源化の推進など焼却炉の処理能力の見直しと設備の延命化を検討していただきたい。</p> <p>(3) 現在、政府が要請している「プラスチック一括回収」を受け、回収方法、処理施設の整備を検討してほしい。</p> <p>(4) 焼却するプラスチック製品がコロナウイルス感染拡大防止のために多くなっており、二酸化炭素が出て温暖化につながるのではないか。</p> <p>(5) 審議会委員のうち希望者をクリーンセンターの現地視察会を開催してほしい。</p> <p>(6) ごみ処理基本計画の基本方針4安全で安定的な処理施設の確保 基本施策4-1 施設の整備で掲げている通り、非常に重要な議題である。 費用、資金負担、安全で継続的な維持管理と地震・水害時等の災害の対応について、十分な検討と市民への情報提供、市民の理解を得たうえでの建設実施を希望する。 今後、1工場体制を検討とあるが、現状の第2工場の3号炉・4号炉の処理能力を勘案すると現状の春日井市のごみ処理量との関係では相当困難だと思わるが、その対策についてはどう考えているか？ 多額の費用、安全安心な設備、安定したごみ処理体制など、広く市民への情報提供とともに、さらなるごみの削減を進めることを促す方法を考えていただきたい。</p> <p>(7) 1日に搬入されるごみの量が将来どうなるのか具体的な予想数量の目安が分からないが、1工場での処分が可能な排出量</p>	<p>(1) 自立型でエネルギー回収できる施設とすることや、二酸化炭素の排出抑制及び廃棄物処理に伴う余熱利用等のエネルギーの高効率化を検討し、できる限り国の政策を反映しながら進めていきます。</p> <p>(2) 昨年度作成したごみ処理基本計画を参考に修繕期間の見直しや焼却炉の処理能力等を検討します。</p> <p>(3) 現時点でプラスチック一括回収の仕組みが不明ですが、クリーンセンターでの廃棄物処理に影響がある場合は、分別・回収方法及びリサイクル方法にあわせて、処理施設の整備を検討します。</p> <p>(4) プラスチック製品に限らず、焼却量の増加は、二酸化炭素の増加につながりますので、ごみ処理基本計画に掲げたごみ減量施策に取り組んでいきます。</p> <p>(5) クリーンセンター調整のうえ適切な時期に現地視察会を開催することは可能です。</p> <p>(6) 1工場体制は、昨年度作成したごみ処理基本計画を参考に定期修繕に係る期間の見直しや焼却炉の処理能力を検討します。また、適切な時期に市民へ情報提供します。</p> <p>(7) 第一工場の老朽化をふまえ、ごみ処理基本計画で想定しているごみの量を目安として、クリーンセンタ</p>

議 題	ご意見等	回答等
	<p>であれば、第一工場の老朽化対策をすべきで、1工場体制には賛成。</p> <p>(8) 施設の老朽化に伴うものなので、必要なことだと思う。ただ焼却炉の定期点検時の対応、設備の故障などが生じた場合の対応はどうか。</p> <p>また、災害が発生した場合は大量のごみの処理が必要となるが、対応は大丈夫なのか。検討方法と整備までのスケジュールはどのようなものか。基本的なことが知りたい。</p> <p>(9) 1工場体制は具体的にいつぐらいを目安にしているか。第三工場を建設する予定はあるか。</p> <p>(10) 第二工場でごみ焼却を行うという方向性には賛成。</p> <p>(11) 3, 4号炉のごみピット容量が現状4,000m³(5,000t程度貯留かも)でスムーズに3, 4号炉の整備・部品交換・定期的シャットダウンオーバーホールが交互に可能かどうか、豊橋市は焼却炉事故時、最終処分場へごみを一時仮置きした例はあるが、悪臭問題もあり冬場だけなら可能ではないか。</p> <div data-bbox="591 954 1240 1326" data-label="Figure"> <p>3, 4号炉を主体とした月別ごみ焼却実績(単位:t) 3, 4号炉のごみピット4000m³(≒5000t)はオーバーホール時、容量不足が懸念される</p> <p>従来は3, 4号炉の定期メンテナンス時は第一工場のごみピット利用</p> </div> <p>(12) ここ4年間に3, 4号炉それぞれ単独で月間5,000tを越えフル稼働でごみ焼却負荷をかけていないが大丈夫か。</p> <p>(13) ごみ焼却の負荷変動は8月、11月(焼却量いずれも7,900</p>	<p>一の施設整備を検討していきます。</p> <p>(8) 焼却炉の定期点検時は、期間の短縮を検討し、設備の故障などが生じた場合は直ちに修繕する必要があります。</p> <p>災害が発生した場合は、災害廃棄物処理計画のとおり処理優先が高いものから順に処理していくことになります。スケジュールについては、具体的に決まりましたら適切な時期にお知らせします。</p> <p>(9) 1工場体制及び新工場の建設は、整備方針によって異なってきますが、費用抑制できる方法で進めていきます。</p> <p>(10) 1工場体制の方向性は、今後、検討していきます。</p> <p>(11) 整備の方法は1工場化とともに検討していきます。それに合わせて、焼却のオーバーホールの手法を検討します。処理しきれないごみが出る場合は、整備期間中の外部委託を含めて検討していきます。</p> <p>(12) 問題ないと考えています。</p> <p>(13) ごみの搬入量とピットの残量を見ながら、負荷バラ</p>

議 題	ご意見等	回答等
	<p>t)がピークで、最小は1,2月(4,200t、4,800t)であるが、3,4号炉の負荷バランスが取れるのだろうか(従来は第一工場ピットがこの役目を果たしていた)</p> <p>(14) 予期せぬ事故が生じた場合、都市機能をマヒさせないように、危機管理体制を明確にしておく必要があると思うがどうか。</p>	<p>ンスを対応していきます。</p> <p>(14) ごみ処理を他市へ協力依頼することも検討していきます。</p>
<p>2 一般廃棄物の処理手数料の改定</p>	<p>(1) 処理料金を改定しない場合、どのような課題、特に住民へのリスクはあるのか。</p> <p>(2) 市外からのごみ持ち込みであるという判断の基準はどうするか。</p> <p>(3) アンケートの項目、調査時期、その費用対効果はどうか。</p> <p>(4) 生分解性プラスチックのごみ袋の使用を促すような価格設定をお願いしたい。</p> <p>(5) 来場者へのアンケート結果などを参考に、現状に合った方法と費用負担をかんがえていただきたい。 自宅にいる生活に変化する中で、ごみを減らす暮らし方を市民に進めていくことも重要である。ごみを出さない暮らしについて、さらなる啓発の必要性を感じる。</p> <p>(6) 家庭系ごみの処理手数料の値上げをしたほうが持込量も減ると思う。</p> <p>(7) 処理手数料見直し(値上げの)必要性について市民への情報提供に努めてほしい。</p> <p>(8) ニーズ把握のためのクリーンセンター来所者へのアンケート調査の内容はどのようなものか。分析結果やアンケート調査の結果は市のHPで公表してほしい。</p> <p>(9) 他市からのごみの持ち込みは確認されているか。</p>	<p>(1) ごみステーションに出せるごみをクリーンセンターへ持ち込むことにより、マットレスなどごみステーションに出せないごみを持ってきている市民を待たせることになり迷惑をかけています。</p> <p>(2) 市外在住者、市外事業者が家庭系を装い持ち込もうとするため、計量の際に運転免許証や居住確認することで他市からの持ち込みを防いでいます。</p> <p>(3) 内容は別添のとおりです。アンケートは6月に完了しています。</p> <p>(4) 御意見として参考とさせていただきます。</p> <p>(5) 御意見として参考とさせていただきます。</p> <p>(6) 家庭系ごみの処理手数料改定を検討していきます。</p> <p>(7) 市民の方に御理解いただけるよう分かりやすく情報発信していきます。</p> <p>(8) 内容は別添のとおりです。結果の公表は検討させていただきます。</p> <p>(9) 年に数件は確認していますが、計量の際に運転免許証や居住確認することで他市からの持ち込みを防</p>

議題

ご意見等

回答等

(10) 他市を確認すると尾張東部衛生組合(瀬戸市、尾張旭市)の持込手数料はトン換算 20,000 円であるが、焼却、破砕処理経費の実費が7年間平均で10,700 円/tであるため、組合経営面では採算があい、費用対効果は良好である。

参考:尾張東部衛生組合、持込ごみ処理手数料
ごみ焼却処理単価を踏まえた算定基礎推定検証



By:環境省オープンデータ:一般廃棄物処理実態調査
事務職員(事務系、技術系)の件費は焼却処理経費に算入していない

4

いでいます。

(10) 参考資料ありがとうございます。

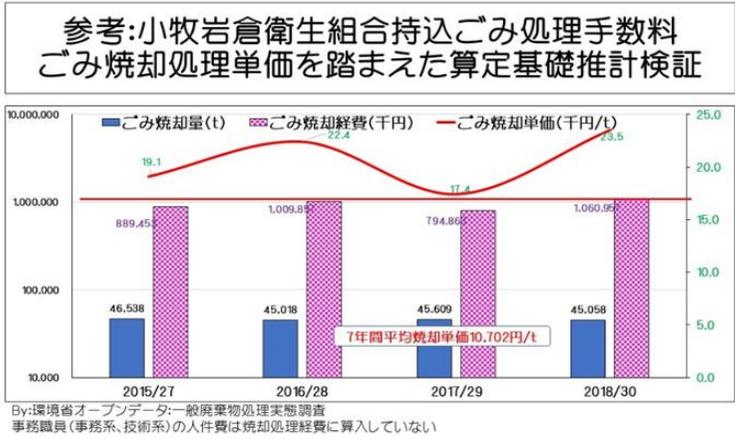
(11) 小牧岩倉衛生組合の持込手数料はトン換算 20,000 円であるが、ここ4年間平均の焼却、破砕処理経費の実費は20,629 円/t であり、組合運営上採算は合わず、早晚値上げの機運が高まるのではないかと推測できる(組合ヒアリング結果)。

(11) 参考資料ありがとうございます。

議題

ご意見等

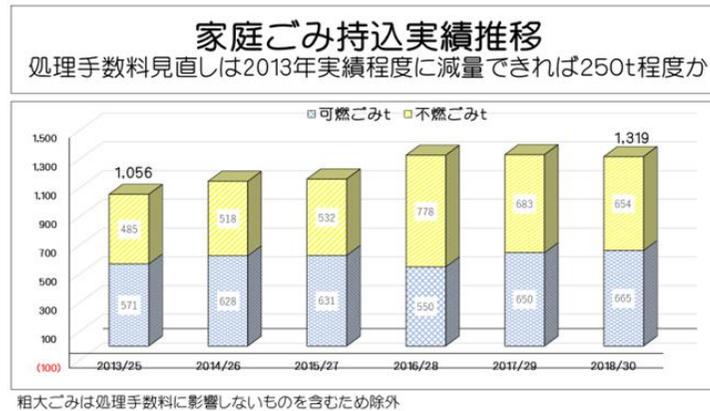
回答等



5

(12) 春日井市の持込手数料は現状トン換算 10,000 円であるが、ここ 7 年間平均の破碎、焼却経費の実費は 27,100 円/t であり経費を回収できていない、従ってこれに近い手数料まで引き上げるべきである、一度に引き上げが難しい場合は段階を経る必要も視野に入れる。

(12) 御意見として参考とさせていただきます。



議 題	ご意見等	回答等																																
	<p>事業系一般廃棄物の処理手数料トン換算 20,000 円にも言えることであるが差額(27,100－20,000)円/t×20,000t 仮定で、事業者に実費を負担して頂くという概念で毎年 1.4 億円の歳入があってもしかるべきではないだろうか。3, 4 号炉の老朽化が進みさらにメンテナンス経費増加は避けられず、事業者も税負担しているという考え方は通用しないと思われる。</p> <p>(13) できるだけクリーンセンターに持ち込まないよう、ステーションに出すよう、指導すべきである。過去の審議会の説明では手数料は市民に対するペナルティ的な性格のものであると聞いている。</p> <div data-bbox="555 603 1279 1045" data-label="Figure"> <p style="text-align: center;">春日井市1～4号焼却炉、焼却処理経費実績推移 2013年度以降の焼却実績推移から、ごみ減量傾向は読み取れない</p> <table border="1"> <caption>春日井市1～4号焼却炉、焼却処理経費実績推移 (2012-2018)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ごみ焼却実測量(t)</th> <th>ごみ焼却経費(千円)</th> <th>ごみ焼却単価(円/t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012</td> <td>2,206,319</td> <td>25,724</td> <td>85,766</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>2,252,476</td> <td>28,942</td> <td>77,828</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>2,317,151</td> <td>29,625</td> <td>78,215</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>2,245,020</td> <td>28,311</td> <td>79,130</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>2,112,162</td> <td>27,095</td> <td>77,941</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>1,852,816</td> <td>24,591</td> <td>75,321</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>1,983,928</td> <td>25,519</td> <td>77,743</td> </tr> </tbody> </table> <p>By:環境省オープンデータ:一般廃棄物処理実態調査 事務職員(事務系、技術系)の人員費は焼却処理経費に算入していない。</p> </div>	年度	ごみ焼却実測量(t)	ごみ焼却経費(千円)	ごみ焼却単価(円/t)	2012	2,206,319	25,724	85,766	2013	2,252,476	28,942	77,828	2014	2,317,151	29,625	78,215	2015	2,245,020	28,311	79,130	2016	2,112,162	27,095	77,941	2017	1,852,816	24,591	75,321	2018	1,983,928	25,519	77,743	<p>(13) ありがとうございます。ごみ処理手数料改定により、不要な持ち込みは減少すると考えています。</p>
年度	ごみ焼却実測量(t)	ごみ焼却経費(千円)	ごみ焼却単価(円/t)																															
2012	2,206,319	25,724	85,766																															
2013	2,252,476	28,942	77,828																															
2014	2,317,151	29,625	78,215																															
2015	2,245,020	28,311	79,130																															
2016	2,112,162	27,095	77,941																															
2017	1,852,816	24,591	75,321																															
2018	1,983,928	25,519	77,743																															
<p>3 金属類の排出方法見直し</p>	<p>(1) 使用済みガスボンベ、スプレー缶は、既に危険ごみとしての回収が実施されている。リチウムイオン電池内蔵の小型家電の回収と適正処理を専門の処理業者に委託することが今回の見直しであり、内容の精査(業者の選定方法、回収手順など)を検討いただきたい。</p> <p>(2) クリーンセンターで処理できないか。</p>	<p>(1) 火災の原因となっている未使用のスプレー缶などは既に公共施設での回収が進んでおり、リチウムイオン電池内蔵の小型家電による火災を防ぐことが重要な課題となります。現在、排出の方法、収集の手順やその後の分別、中間処理事業者の選別などについて、クリーンセンターなどとも検討を進めています。</p> <p>(2) 現在のクリーンセンターでは、作業場所及び人員が</p>																																

議 題	ご意見等	回答等
	<p>(3) 他市の対応はどうか。火災等の危険回避方法は何か。</p> <p>(4) 処理方法の変更について、市民への周知徹底を希望する。</p> <p>(5) ガスボンベなど可燃性のものが混入されて排出されている現状は深刻な問題だと思う。不燃物や資源物(ビン、缶、ペットボトルなど)の袋への混入も多数あり、パッカー車の中での火災も決してなくなることはない。金属類の排出方法のみならず、危険な廃棄物の排出する際の分別方法の周知の仕方を見直してほしい。</p> <p>(6) 基本的には実行してほしい。ごみの出し方を変更し、市民にその方法を実施してもらうのは、簡単なことではない。特に今年は新型コロナの影響で町内会・自治会、地区社協等の催しが開催できない状況が続いているため、町内会等の協力を得ての地域へのお知らせが十分にはできない。</p> <p>(7) 中間処理の導入を行った場合、どのくらいの費用がかかるか。</p> <p>(8) 施設火災が起きた時、どのように対処しているか。</p>	<p>不足しており、難しい状況です。</p> <p>(3) 各市町村が集まる会議などで課題として取り上げられることも多く、他市町村においても、小型家電の拠点回収を行い、発火性危険ごみを別に収集するなどの工夫を行っておりますが、残念ながら画期的に火災発生を防止する方法は見つかっておりません。現在は、ごみ処理施設においていち早く煙探知機などで火災を感知し、初期消火することで、大規模火災を防いでいます。</p> <p>(4) 排出方法等の変更を行うにあたり、各町内会等に対して説明会を行う予定です。</p> <p>(5) 分別が不十分であるために発生する火災は、金属類だけではないため、「資源・ごみの出し方便利帳」を全面改訂し、引き続き分別方法の周知に力を入れています。</p> <p>(6) 排出方法等の変更については引き続き委託内容の精査を進め、実施に当たっては、「資源・ごみの出し方便利帳」を全面改訂するとともに、職員が各町内会等に対し、説明会を実施するなど周知に努めます。</p> <p>(7) 費用については、来年度の予算に向けて見積もりの徴収を行いますので、現時点では未定ですが、最大の費用対効果が得られるよう、委託内容を精査します。</p> <p>(8) モニター等でピット内を監視し、火災の早期発見に</p>

議 題	ご意見等	回答等																																								
	<p>(9) 現在ごみ処理経費は、およそ 40 億円の内資源ごみの収集運搬、選別に約 5 億円が投入されている。これを圧縮できる方策をひねり出し、金属類の選別に振り向けるべきである。これに取組まないとごみ処理経費は膨らむばかりで、幾らあっても不足する。近い将来プラごみ一括資源化も予想される。</p> <div data-bbox="577 528 1256 943" data-label="Figure"> <p style="text-align: center;">春日井市、2018年度一般廃棄物資源化状況 総ごみ処理経費4,022.1百万円の内507.6百万円(12.6%)を支出</p> <table border="1"> <caption>春日井市、2018年度一般廃棄物資源化状況 (単位: 千円)</caption> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>収集及処理費 (千円)</th> <th>収集量 (t)</th> <th>資源化コスト (千円/t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲料缶</td> <td>9,940</td> <td>260</td> <td>38.2</td> </tr> <tr> <td>ガラスびん</td> <td>95,193</td> <td>1,593</td> <td>59.8</td> </tr> <tr> <td>PETボトル</td> <td>57,482</td> <td>786</td> <td>73.1</td> </tr> <tr> <td>容器包装プラ</td> <td>937,470</td> <td>2,608</td> <td>91.1</td> </tr> <tr> <td>金属(小家電等)</td> <td>32,772</td> <td>665</td> <td>49.3</td> </tr> <tr> <td>古紙(雑紙等)</td> <td>68,509</td> <td>5,220</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>古布</td> <td>5,405</td> <td>413</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>牛乳パック</td> <td>525</td> <td>40</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>資源化総量</td> <td>507,678</td> <td>11,585</td> <td>43.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>ガラスびんの中間処理費は会計年度任用職員15名の人件費が含まれます。 PETボトルの中間処理費は会計年度任用職員12名の人件費が含まれます。</small></p> </div> <p>参考：ガラス瓶の選別には会計年度任用職員 15 名を雇用しており 33,000 千円の人件費が使われている。 PETボトルの選別には会計年度任用職員12名を雇用しており 26,400 千円の人件費が使われている 容器包装プラスチックの外部委託選別梱包に1億程度かかっている。</p>	品目	収集及処理費 (千円)	収集量 (t)	資源化コスト (千円/t)	飲料缶	9,940	260	38.2	ガラスびん	95,193	1,593	59.8	PETボトル	57,482	786	73.1	容器包装プラ	937,470	2,608	91.1	金属(小家電等)	32,772	665	49.3	古紙(雑紙等)	68,509	5,220	13.1	古布	5,405	413	13.1	牛乳パック	525	40	13.1	資源化総量	507,678	11,585	43.8	<p>努めるとともに、煙などが確認された場合は、迅速に初期消火にあたっています。</p> <p>(9) ごみ処理経費については、年々変化するごみの種類やリサイクル品目等に対応しつつ、民間への委託等も活用しながら、最大の費用対効果が得られるように努めます。</p>
品目	収集及処理費 (千円)	収集量 (t)	資源化コスト (千円/t)																																							
飲料缶	9,940	260	38.2																																							
ガラスびん	95,193	1,593	59.8																																							
PETボトル	57,482	786	73.1																																							
容器包装プラ	937,470	2,608	91.1																																							
金属(小家電等)	32,772	665	49.3																																							
古紙(雑紙等)	68,509	5,220	13.1																																							
古布	5,405	413	13.1																																							
牛乳パック	525	40	13.1																																							
資源化総量	507,678	11,585	43.8																																							
<p>4 蛍光管の回収拠点拡充</p>	<p>(1) 水銀製品の適正回収は、喫緊の課題であり、蛍光管の回収のためのボックス設置は急がれる。回収状況と回収後の適正処理に関する情報公開も必要であるとする。</p> <p>(2) 回収蛍光管に水銀が含まれている量ほどの程度か。</p>	<p>(1) 水銀製品の適正処理について、回収状況等を知っていただくことは重要であると考えますので、わかりやすく情報提供していきます。</p> <p>(2) 蛍光管1本あたり平均約 6mgです。</p>																																								

議 題	ご意見等	回答等
	<p>(3) 処理方法の変更について、市民への案内を希望します。</p> <p>(4) 蛍光灯には水銀が入っていて安全に適正な処理が必要だということ、リサイクルが必要だということの知識を広める為に回収ボックスの所に適正な処理が必要であることを掲示するとよいと思う。</p> <p>(5) 高蔵寺ニュータウン地区の回収拠点が少ないので、「グルッポふじとう」も加えてほしい。</p> <p>(6) すべての回収拠点を同時に追加するのではなく、令和4年度まで毎年4か所の回収拠点を追加していく理由を教えてください。</p> <p>(7) 方向性に異論はないが、蛍光管を割らない工夫を市民に啓発すべきである、管内の水銀ペーパーは有害物質であり、大気拡散させない配慮が必要である。</p>	<p>(3) 市民の皆様へ周知いたします。</p> <p>(4) 水銀製品の適正処理について、必要性を知っていただくことは重要であると考えますので、広報等で周知する際、記載します。</p> <p>(5) 回収拠点の更なる拡充については、今後検討していきます。</p> <p>(6) 数年に分けて回収拠点を拡大していくことで、広報等での周知啓発の機会を増やすとともに、一斉に拠点回収を開始し、燃やせないごみへの排出を中止することによる市民の混乱を防ぐことを目的としています。</p> <p>(7) 広報等により周知に努めていきます。</p>
<p>5 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等のベトナム語対応</p>	<p>(1) ごみ分別アプリの導入効果の検証とベトナム語追加の趣旨を明確にして、引き続きスペイン語、韓国語も追加の検討を希望する。</p> <p>(2) 外国人留学生へのアプリの活用を進めてほしい。</p> <p>(3) 早期の実施を希望する。</p> <p>(4) 外国人の方に「さんあ〜る」の利用を促進する施策を実施してはどうか。</p> <p>(5) ベトナム語以外の追加要望はあるか。</p> <p>(6) 小牧市の国別アプリは7か国対応しているがどうか。</p>	<p>(1) アプリの統計機能を用い、導入効果について検証します。また、市内在住の外国人の人数や要望に基づいて言語の追加を検討していきます。</p> <p>(2) 中部大学等と連携を取り、外国人留学生への周知啓発を行います。</p> <p>(3) 早期実施に努めます。</p> <p>(4) 外国人の方を雇用する会社や外国人の方が多く居住する集合住宅や町内会等に対して周知啓発を行います。</p> <p>(5) 今のところ具体的な要望はありませんが、順次必要な言語の追加を検討します。</p> <p>(6) 順次必要な言語の追加を検討します。</p>